

Master Sound Discrete DAC

ESOTERIC初の完全自社設計
ディスクリートDAC、それが
『Master Sound Discrete DAC』。

『Master Sound Discrete DAC』は、
従来の36bitから大きく進化した64bitの
高解像力を備え、512Fs (22.5MHz)
のDSD信号処理やMQAデコードをはじめ
とする、最新のテクノロジーに対応した
高性能D/Aコンバーターです。

Master Sound Discrete DAC

しかし、カタログスペックだけで
この新しいD/Aコンバーターの
本質を語ることはできません。

スペックでは表現できない深いところに、
エンジニアの強いこだわりがあるのです。
そもそも、なぜディスクリットDAC
の開発に至ったのか？

設計理念の根幹を
少しだけお話ししましょう。

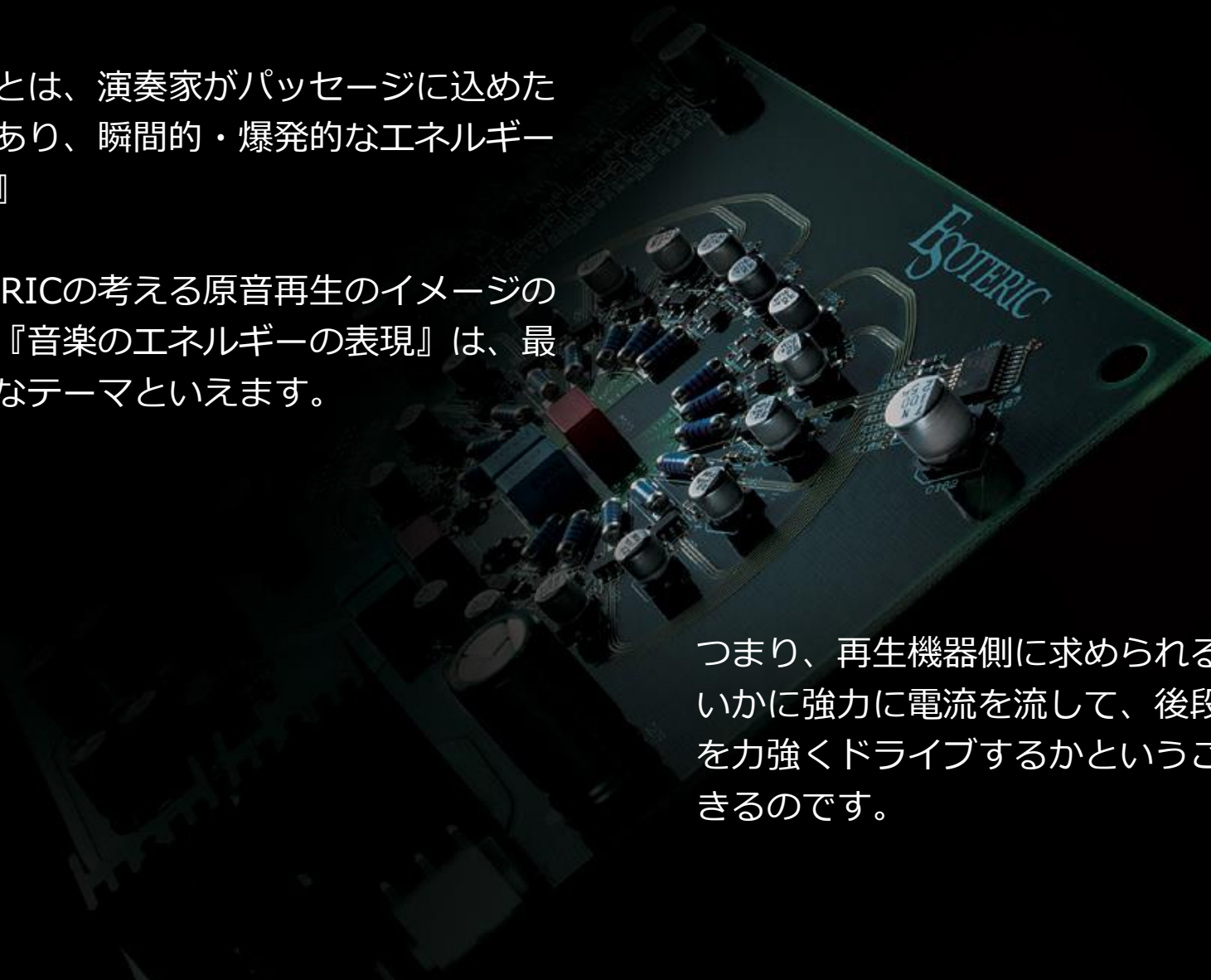


Master Sound Discrete DAC

『音楽とは、演奏家がパッケージに込めた情熱であり、瞬間的・爆発的なエネルギーである』

ESOTERICの考える原音再生のイメージの中で、『音楽のエネルギーの表現』は、最も重要なテーマといえます。

つまり、再生機器側に求められるのは、いかに強かに電流を流して、後段の機器を力強くドライブするかということに尽きるのです。



Master Sound Discrete DAC

パワーアンプ、プリアンプ、そして上流のソース機器に至るまで、ESOTERICは、パワフルなサウンドを追及してきました。

昨今では、独自の電流伝送『ES-LINK Analog』などで、伝送システムをより強力にする取り組みも行っています。

それでは、アナログ信号の最上流であるDACでは、どのような取り組みをしてきたのでしょうか？

Grandioso D1のDACをご覧ください。DACチップを8個（=16回路）/chも平行で使用することで、電流を加算し、音楽のエネルギーを余すところなく伝える設計を行ってきました。



Master Sound Discrete DAC

汎用型DACチップの平行使用でも力強い電流出力を得ることは可能です。

しかし、汎用型チップの内部にあるものをすべて外に出して、自分たちの思うままに展開し、音楽のエネルギー感を更に引き出すことはできないのか？

今よりも、更にハイグレードなパーツ、贅沢な物量を使って、より大きな電流を流せる、もっとESOTERICのポリシーに近い、ハイエナジーなDAC回路が作れないのか？

そんなエンジニアの強い思いが、ディスクリートDACの開発を後押ししたのです。



Master Sound Discrete DAC

今回のディスクリート回路では、細部に至るまで、ESOTERICのトップエンジニア・チームが、最新鋭のテクノロジーを駆使して検討を重ね、ブランドのプライドを賭けた音作りを行っています。

抵抗やロジックIC、パワーサプライなどの各コンポーネントも、1つのエレメントに対し、1回路ずつ奢り、贅沢に電流を流せるものを目指しました。



Master Sound Discrete DAC

また、ESOTERICの自社工場では、熟練の職人達が、あらゆるコンポーネントの特性を吟味しながら、高度な部品の選別をおこない、優れた特性と高音質を追及しました。



ESOTERICの自社工場は、国内屈指の高品質PCB基板製造設備を備え、高級オーディオ以外では、医療・情報・航空宇宙産業機器などのOEM製造も手掛けています。

病院のオペ室と同じレベルのクリーンルームで、無酸素炉でハンダ付けができるオーディオ工場は世界的にも稀で、高度なディスクリットDACの製造には理想的な環境です。



Master Sound Discrete DAC



目指したのは、
『音楽のエネルギー』
を100%表現できるDAC。
そして、チップセットでは
替えがたいレベルの感動。
いま、ESOTERICの英知と技術
を結集し、D/A変換技術の
全く新しい地平を切り拓きます。